

東海・北陸地区での県立図書館間定期便設置

～東海・北陸5県内の図書館蔵書4,403万冊を相互貸借～



愛知県図書館（愛知県名古屋市） <http://www.aichi-pref-library.jp/>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	名古屋市中区三の丸一丁目9番3号
電話番号	052-212-2323
人口（図書館が所在する市町村）	725万人
職員数（うち有資格者数）	73人（65人）
蔵書数	図書1,061,656冊
登録者数	48,739人
年間貸出冊数（H24）	537,355冊

目的・趣旨

東海・北陸地区5県（愛知、富山、石川、岐阜、三重）における物流面での広域図書館連携による資料提供能力の向上

取組概要

各県内の公立図書館の蔵書相互貸借を行うため、搬送便を県立図書館が中心となって確保している。

愛知県図書館では、県立図書館同士で資料搬送するための定期便を順次開設した。

- ・平成14年度 愛知県から岐阜県、三重県へ片道搬送開始
- ・平成16年度から19年度にかけて愛知県と富山県、三重県、岐阜県、石川県との往復搬送を開始

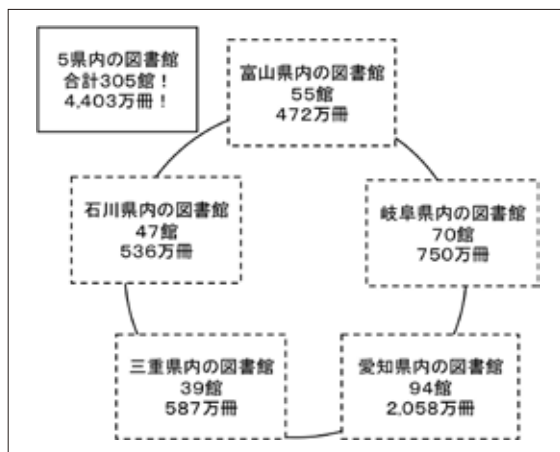


県別に並ぶ図書発送準備棚

愛知、富山、石川、岐阜、三重県内にある305の県立、市町村立図書館、4,403万冊の図書を無料で相互に利用している。

特徴

- 従来、県内の相互貸借は、県立図書館が行う宅配便により無料または低廉な費用で実施していた。しかし、県域を越える場合は、こうした搬送便がなかったため、小包や宅配便で市町村立図書館が個別に発送することになり、その経費や作業がかなりの負担となっていた。
- 東海・北陸地区の県立図書館では、週2便の定期便の搬送経費を各県立図書館が平等に負担することとし、相手の県立図書館へ一括して資料を搬送している。さらに県内の市町村立図書館及び別の県立図書館あての場合は、県立図書館で県内の搬送便に乗せ換えて、市町村立図書館に送っている。こうしたことから、ブロック内の公立図書館同士であれば、経費面を気にすることなく、相互貸借を行うことができるようになった。
- また、送付のための梱包も必要最低限で済むため、貸出館での作業負担を大幅に軽減することができる。



東海北陸5県内 4,403万冊の図書が無料で相互貸借できる

取組の成果と今後について

愛知県内の図書館が愛知県図書館を経由して東海・北陸地区の図書館と相互貸借を行った冊数は、平成14年度の747冊から平成23年度には、8,691冊となり、現在も利用が増えている。

	冊数	参加館
平14年度	747	岐阜、三重
↓	↓	↓
平23年度	8,691	岐阜、三重、富山、石川